

3. 事業効果の事例

水門の遠隔操作により津波被害を防止【岩手県田野畑村】

水門の遠隔操作化により、津波来襲前に閉鎖完了

岩手県田野畑村では明治29年の三陸沖地震大津波により被災者143名を記録するなど、過去に幾度も津波による甚大な被害を受けている。このため、津波・高潮危機管理対策緊急事業にて水門の遠隔操作化を実施中。

これにより、地震発生後35分で到達が予想される津波から水門操作員を含めた背後住民の人命及び財産を守ることが可能。

位置図



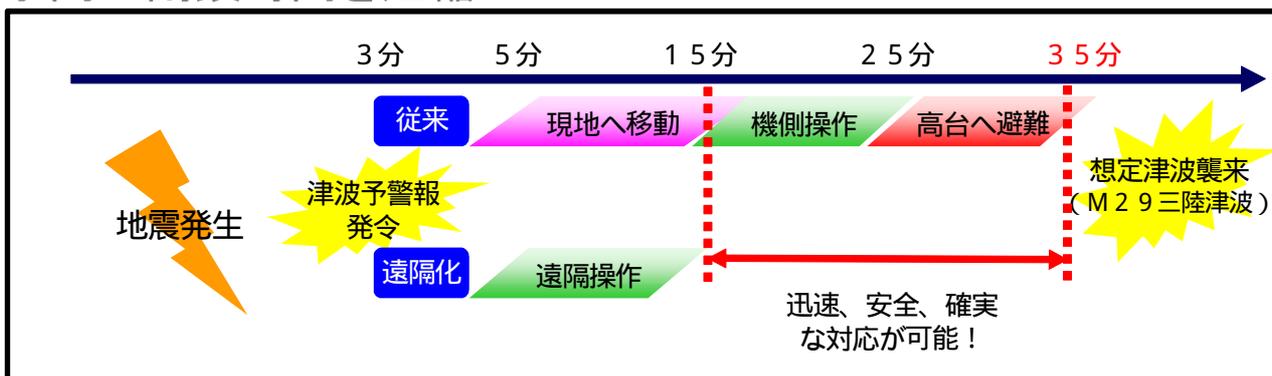
昭和8年三陸津波



背後地状況



水門の閉鎖時間を短縮



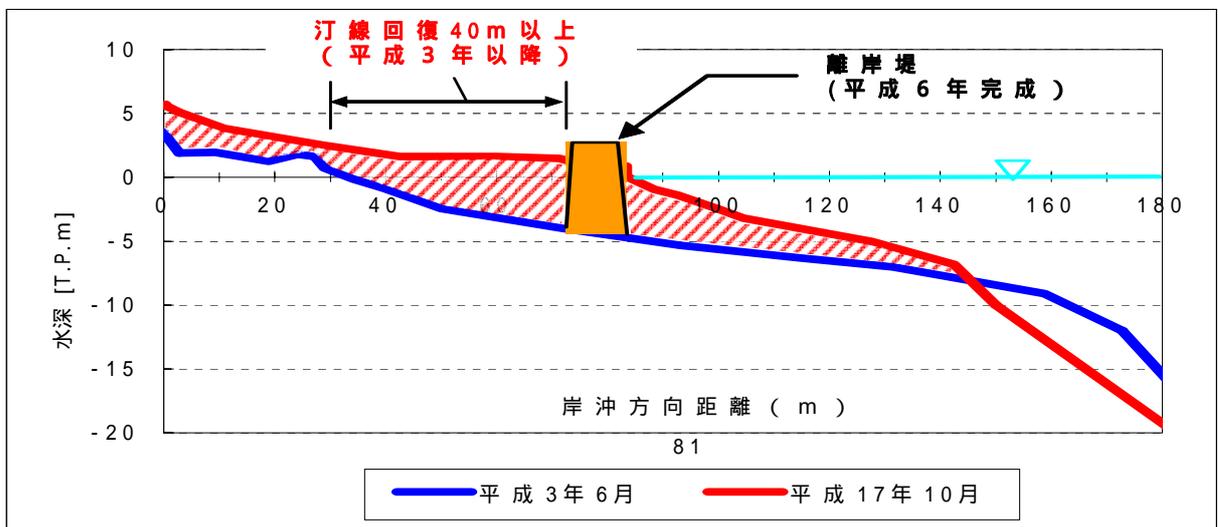
遠隔操作を行うことで、従来に比べ約20分閉鎖時間を短縮することが可能

離岸堤、人工リーフの整備により河川供給土砂を補足し砂浜を回復
 【富山県黒部市】

離岸堤、人工リーフの整備が波浪を低減し、砂浜を回復

富山県下新川海岸は、冬期風浪の影響による侵食が著しく、近年においても希少な砂浜が喪失する危機。侵食対策として離岸堤や人工リーフの整備により、波浪を低減し、河川からの供給土砂を的確に捕捉することで、砂浜が約40m回復。

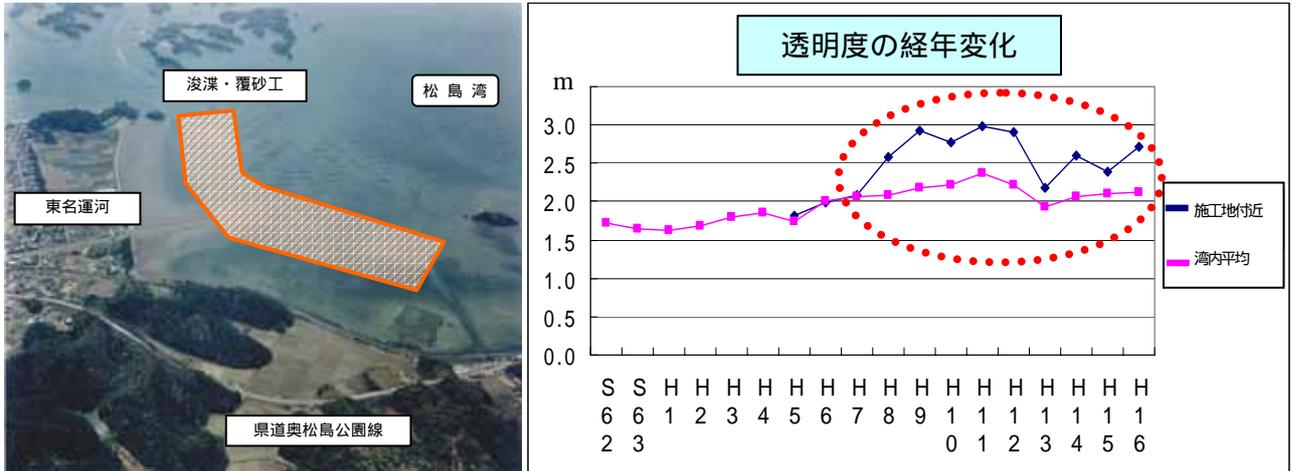
整備前の侵食状況



浚渫・覆砂により松島湾の海域浄化に寄与【宮城県東松島市】

へドロの浚渫及び覆砂により、松島湾の水質が改善

宮城県鳴瀬長浜海岸は、松島湾奥部に位置し、県内有数の潮干狩り場であり、カキ養殖も盛んな海域であるが、産業の発展・都市化に伴い湾内の水質悪化が進行していた。海域浄化対策として浚渫・覆砂工を実施し、松島湾の水質は、目標値に対し着実に改善。



浚渫・覆砂の施工箇所付近では透明度が改善

防護機能の向上と海岸利用に配慮した親水性豊かな海岸整備

【兵庫県淡路市】

防護水準の向上とともに、海岸利用者の大幅増に寄与

兵庫県多賀海岸は、多賀の浜海水浴場として利用されてきたが、度重なる台風や冬期風浪等の侵食により海浜が消失し、県道上まで越波するようになった。そこで、護岸改良による防護機能の向上を図るとともに、海水浴等の利用に配慮した親水性豊かな海岸整備を実施。

淡路島外からの利用者が多く、利用者の満足度も高い上に、隣接海岸で越波が発生する日でも当海岸では越波なし。



侵食防止効果
平成2年 0.5m/年 (整備前)
平成16年 0m/年 (整備後)

越波防止効果
平成2年 17日 (整備前)
平成16年 0日 (整備後)

海水浴客数増加
平成2年 0人 (整備前)
平成17年 30,400人 (整備後)